

別添資料 1

基本評価シート
様式

(京都府 農村振興課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和4年度指定管理鳥獣捕獲等業務（南丹市四ツ谷田原）		
	令和4年度指定管理鳥獣捕獲等業務（南丹市日吉ダム）		
都道府県名	京都府	担当者部・係名	農林水産部農村振興課
担当者名	小林 弘和	担当者連絡先	075-414-5022
捕獲実施事業者	（一社）京都府猟友会 ※認定済	予算額（※2）	22,000,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	11,000,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
【四ツ谷田原】101頭	21頭	21%
【日吉ダム】14頭	1頭	7%

※ 令和5年3月30日時点

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
96,000頭（令和2年度）	令和2年度の個体数を 令和8年度に半減	48,000頭（令和8年度）
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
7,978頭（令和3年度）	17,953頭（令和3年度）	0頭（令和3年度）

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

府単独の個体群管理事業は実施していない。

2. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>京都府におけるニホンジカ（以下、シカという。）の分布状況は、市街地を除く府内ほぼ全域で、近年ではこれまでシカが生息していなかった北部地域の丹後半島へも拡大している。</p> <p>府では、人とシカの共存を図ることを目的に平成5～7年度の3年間、府内一円で実施した生息状況調査等に基づき、平成8年度にシカ適正管理指針を策定し、平成9年度から同指針に基づく個体数管理の一環としてメスジカの狩猟獣化に取り組んできた。平成12年度には同指針に基づき、平成9年度から実施したモニタリング調査の結果を踏まえ、特定鳥獣保護管理計画ーニホンジカ（第1期）を策定し、個体数管理を行うと同時に地域ぐるみの防除対策に努めてきた。平成29年4月からは第5期計画となる第二種特定鳥獣管理計画ーニホンジカを策定し、さらなる対策を推進している。</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画では、シカの推定生息頭数を令和2年度時点で96,000頭と推定し、これを令和8年度に半減することを管理目標としている。目標達成のための年間捕獲目標頭数は、シミュレーションによりメス15,000頭、オス11,000頭としている。</p> <p>府内のシカによる農作物被害は令和2年度に7千3百万円と過年度から減少傾向にあったものの近年横ばいで推移しており、対策の効果は出ているものの、なお甚大な被害が発生している。この他にも、シカの食害により森林の下層植生が衰退する等、森林生態系等へも深刻な影響を及ぼしている。また、シカの生息域の拡大等に伴い交通事故など生活環境被害も発生している。そこで、平成26年5月に法改正により創設された「指定管理鳥獣捕獲等事業」を活用し、府が事業主体となって、生息個体数に対して捕獲が十分に進んでいない地域を対象とし、捕獲事業を実施することとする。</p> <p>なお、特定計画においては、狩猟及び有害鳥獣捕獲の実施に加えて、指定管理鳥獣捕獲等事業を策定し、生息密度が高く、捕獲が進んでいない地域において、市町村と連携して捕獲を推進することとしている。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p>
人材育成の観点	<p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
実施期間	<p>【四ツ谷田原】 令和4年6月14日～令和4年8月8日</p> <p>【日吉ダム】 令和4年11月11日～令和5年3月31日</p>
実施区域	<p>【四ツ谷田原】 生息密度が高く、地元から捕獲要望が高い地域である（添付図1）。</p> <p>【日吉ダム】 鳥獣保護区であるため十分に捕獲が進まず、生息密度が高いエリアである（添付図2）。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<p>〈府広域振興局及び関係市〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、警察署、狩猟者への説明及び周知 ・捕獲に係る各種許可等の申請にあたっての指導等
事業の捕獲目標	<p>（ 18.2 %達成）</p>

	= (21 実績値) / (115 目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り【四ツ谷田原】 <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<p>【わな猟】</p> <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな【日吉ダム】 <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 () ※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可
捕獲個体の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：捕獲個体の右半身にスプレーで捕獲個体番号を記載の上、捕獲者・捕獲日・捕獲従事者番号・捕獲場所・個体番号を記載した黒板等と共に写真を撮影する。） <input type="checkbox"/> その他 () ※複数チェック可。
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。 わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：餌にヘイキューブを用いた） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。 鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input checked="" type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	緊急事態発生の連絡がなされてから、指導監督者の直接の指示により、指導監督者又は捕獲従事者等のうち2名以上が、捕獲事業実施区域へ1時間以内に到着する。
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> 捕獲従事者数：71人【四ツ谷田原】、21人【日吉ダム】 （内訳） 【四ツ谷田原】 正規雇用者：1人、期間雇用者：0人、日当制：70人 【日吉ダム】 正規雇用者：1人、期間雇用者：0人、日当制：20人

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価：令和4年度に実施した2地域（四ツ谷、日吉ダム）では、いずれも捕獲の目標達成率が低調であった（四ツ谷が21%、日吉ダムは7%）。
	改善点：目標値を捕獲頭数に限定するのではなく、捕獲場所や捕獲時期に応じた被害程度を指標として組入れることを検討する必要がある。
【実施期間】	評価：捕獲作業は、銃捕獲においては7回、わな捕獲においては10日間の期間であった。銃捕獲については、ドローンの活用による捕獲効率の向上に取り組み、実施日数設定の最適化に努めた。
	改善点：設定された実施日数の期間で捕獲目標を達成するためには、より多くの捕獲努力量か、実施日数の延長が必要であった。他方で、ヘイキューブによる誘引が十分機能していなかった。わな架設の前1～2週間程度、事前誘引することは効果的である。実施期間のみならず、こうした捕獲に至るプロセスも見直していく必要がある。
【実施区域】	評価：捕獲作業範囲として設定されている地域は、予備調査としてセンサーカメラ調査によるシカの密度分布調査が行われた。このことから個体群密度が高いエリアを特定して捕獲作業を実施し、適正に捕獲作業範囲を選定することができた。
	改善点：次期実施区域も予備調査等を行い、適正に捕獲作業範囲を選定する必要がある。
【捕獲手法】	評価：銃捕獲については、巻狩りが採用されており、同一場所での反復捕獲がそもそも難しい中、ドローンの活用で捕獲効率を高めるよう努めており、実施日数設定の最適化ができた。また、わな捕獲においては、ヘイキューブを用いた誘引による捕獲効率向上に努めた。
	改善点：次期捕獲では事前誘引を積極的に採用するよう特記仕様書や作業記録票の改訂を行う必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：調査事業と捕獲事業を別発注とし、異なる事業者が各事業を実施した。
	改善点：特に問題点はない。
【個体処分】	評価：捕獲個体は法令に従い、埋設、もしくは焼却施設搬入など適正に処理した。
	改善点：特に問題点はない。

【環境配慮】	評価：四ッ谷田原で鉛弾を使用した。
	改善点：鉛中毒防止のため、非鉛弾の使用を推進する。
【安全管理】	評価：事前周知として、捕獲場所の周囲に注意喚起の看板を設置した。
	改善点：特に問題点はない。

3. その他の事項に関する評価及び改善点

近年、各地で事前誘引が適用され、捕獲効率の向上につながっている。今後、事業を設計する際には、事前誘引を積極的に採用するとともに、これが機能するよう特記仕様書や作業記録票を改定する必要がある。

4. 全体評価

目標設定、実施区域は、適切な事業設計ができた。しかし、目標達成率が低いことから、指標の見直しを行う必要がある。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

令和4年度の府全域の捕獲目標数 26,000 頭（メス 15,000 頭、オス 11,000 頭）に対して、本事業が占める割合は 0.08%と寄与の程度は高くなかった。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input checked="" type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報	

	(雄の角先端数)	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図(地図)※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> SPUEの地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果(必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲【四ツ谷田原】

外業の人日数総数※1： 174 人日

事前調査人日数概数※2： 34 人日

出猟(捕獲作業)人日数： 182 人日

(作業時間に関わらず作業した日は1日と計上した。)

項目	令和4年度 (事業年度の値)	令和3年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(銃猟) のべ人日数	140 人日	156 人日 (警備員除く)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

① わなによる捕獲【日吉ダム】

外業の人日数総数※1：57人日

事前調査人日数概数※2：3人日

出猟（捕獲作業）人日数：49人日

項目	令和4年度 (事業年度の値)	令和3年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日 数）	500 基日	1,320 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲【四ツ谷田原】

項目	令和4年度 (事業年度の値)	令和3年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	21 頭	38 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	55 頭	77 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.67	0.92	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.0	0.0	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	21 頭	140 人日	0.15 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0.39 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

わなによる捕獲【日吉ダム】

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	1 頭	17 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	1.00	0.76	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③ 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.0	0.0	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	1 頭	500 基日	0.002 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 1.25 人・時間

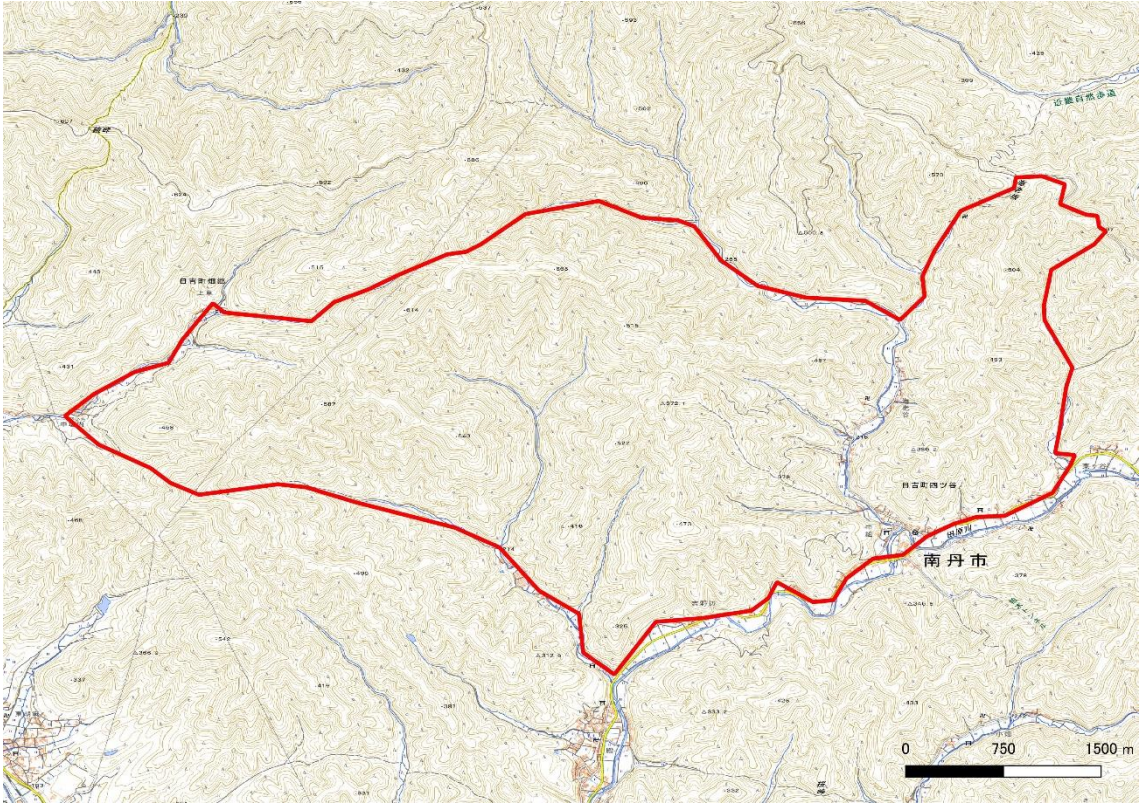
処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

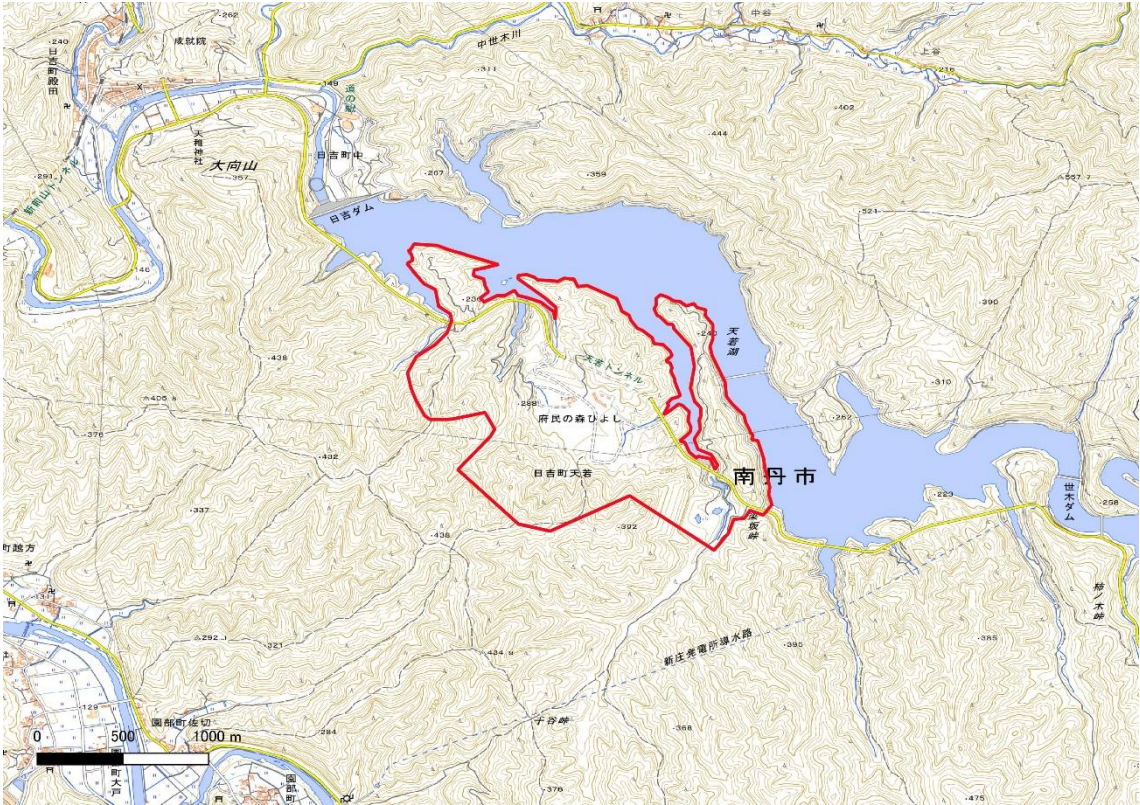
処理状況を埋設場所、もしくは焼却施設において場所が判別できるよう、捕獲個体を写真に記録する。

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

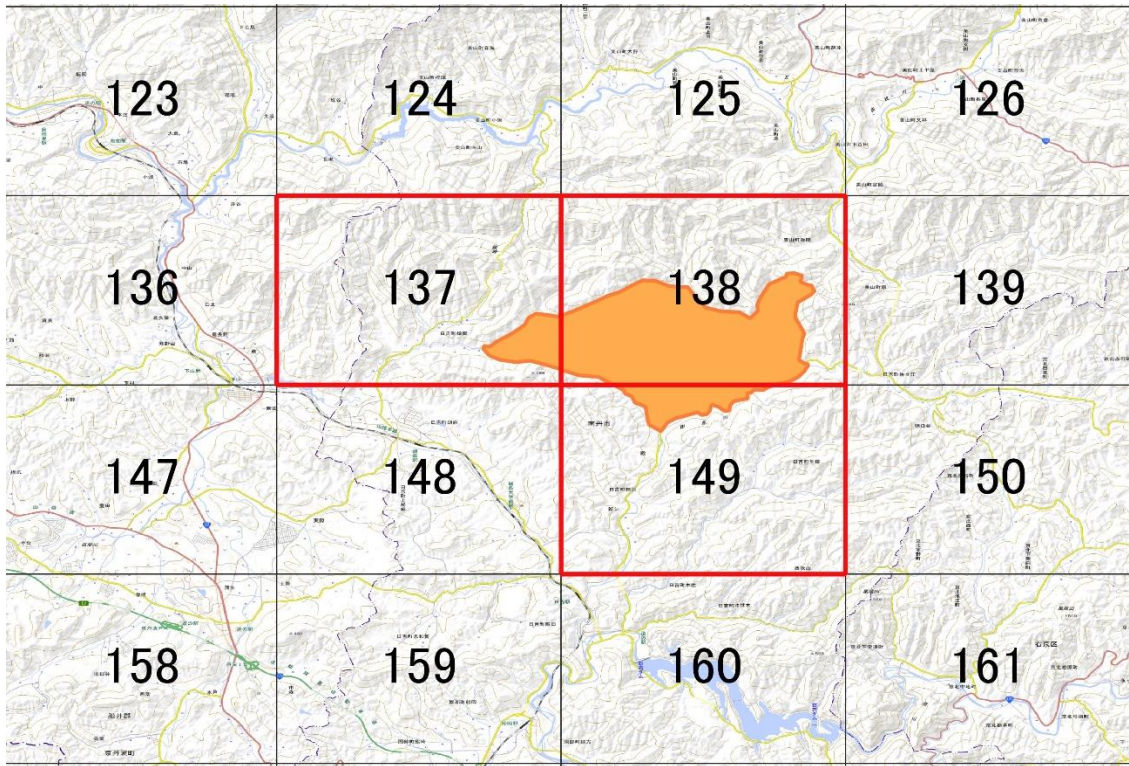
誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。



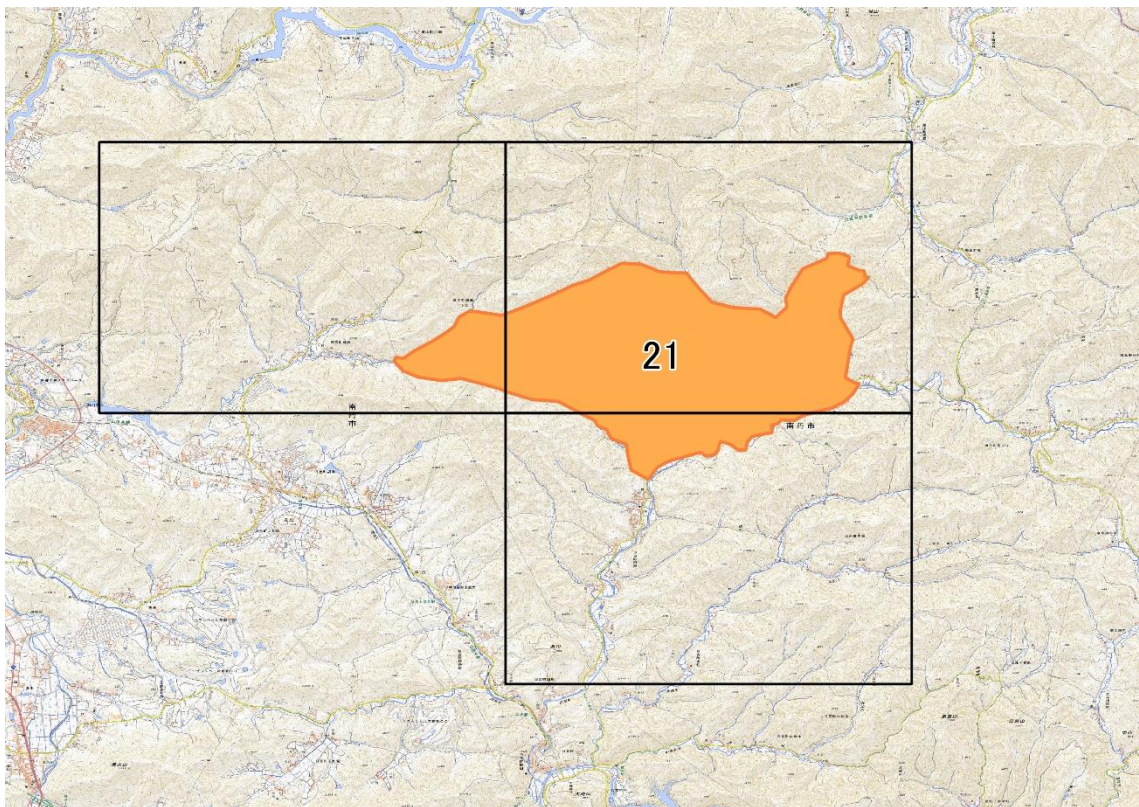
添付図1 四ツ谷田原区域



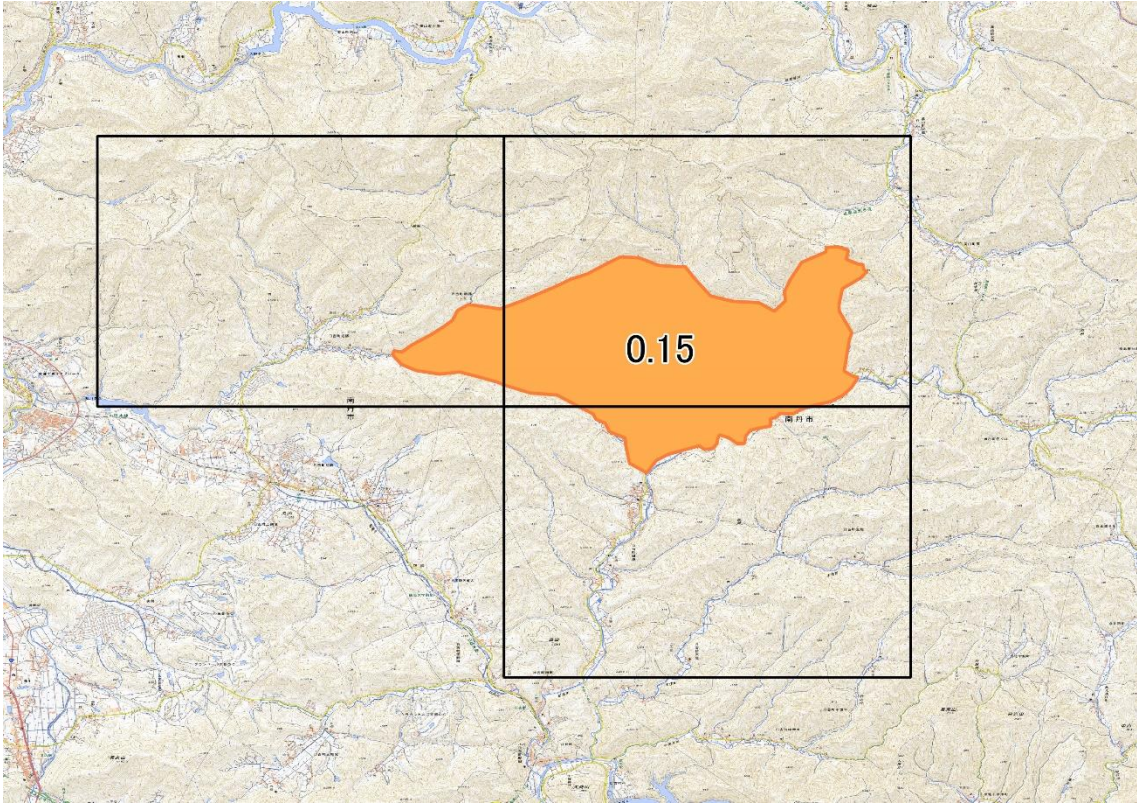
添付図2 日吉ダム区域



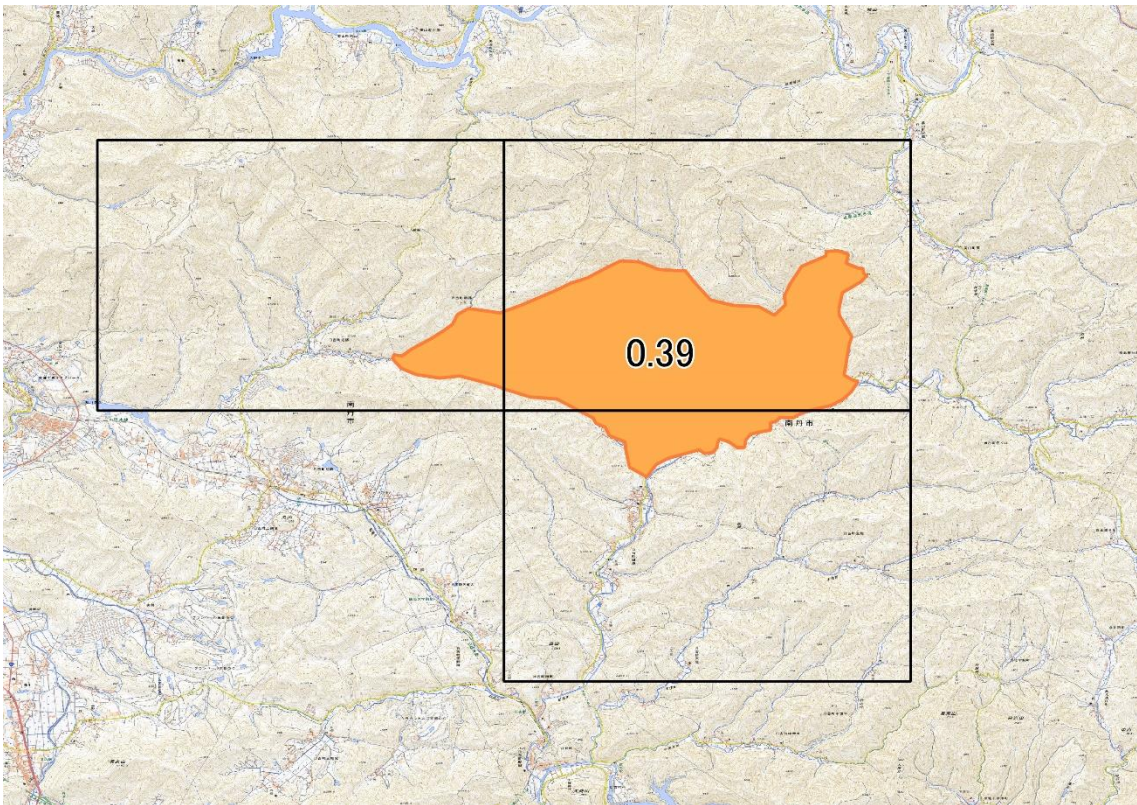
添付図3 四ツ谷田原区域の該当する5kmメッシュ地図（数値は京都府メッシュ番号）



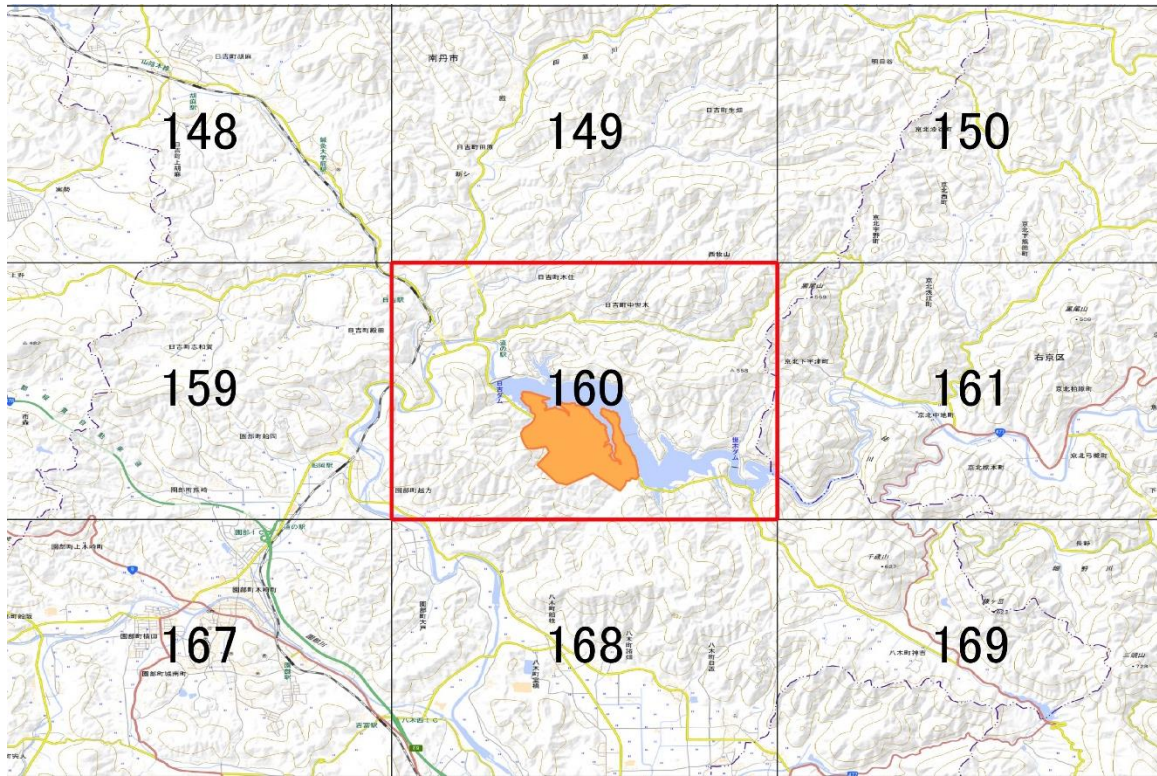
添付図4 四ツ谷田原区域の捕獲位置図



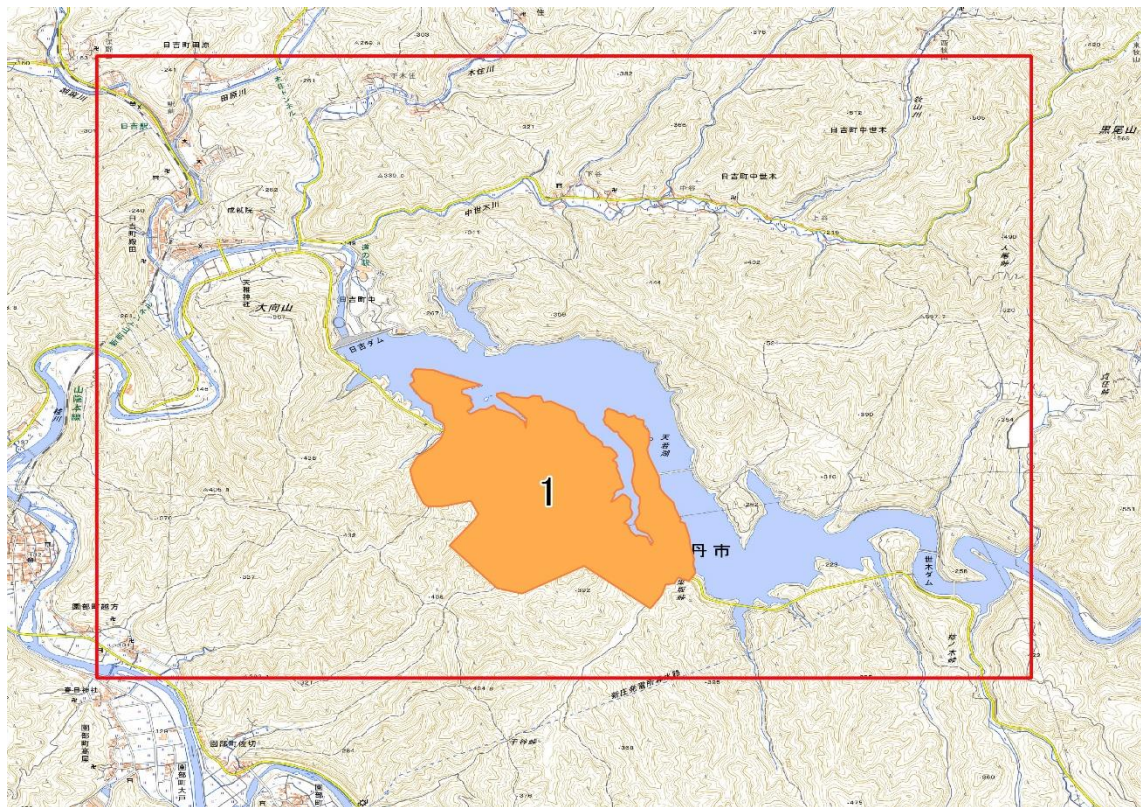
添付図5 四ツ谷田原区域の CPUE の地図



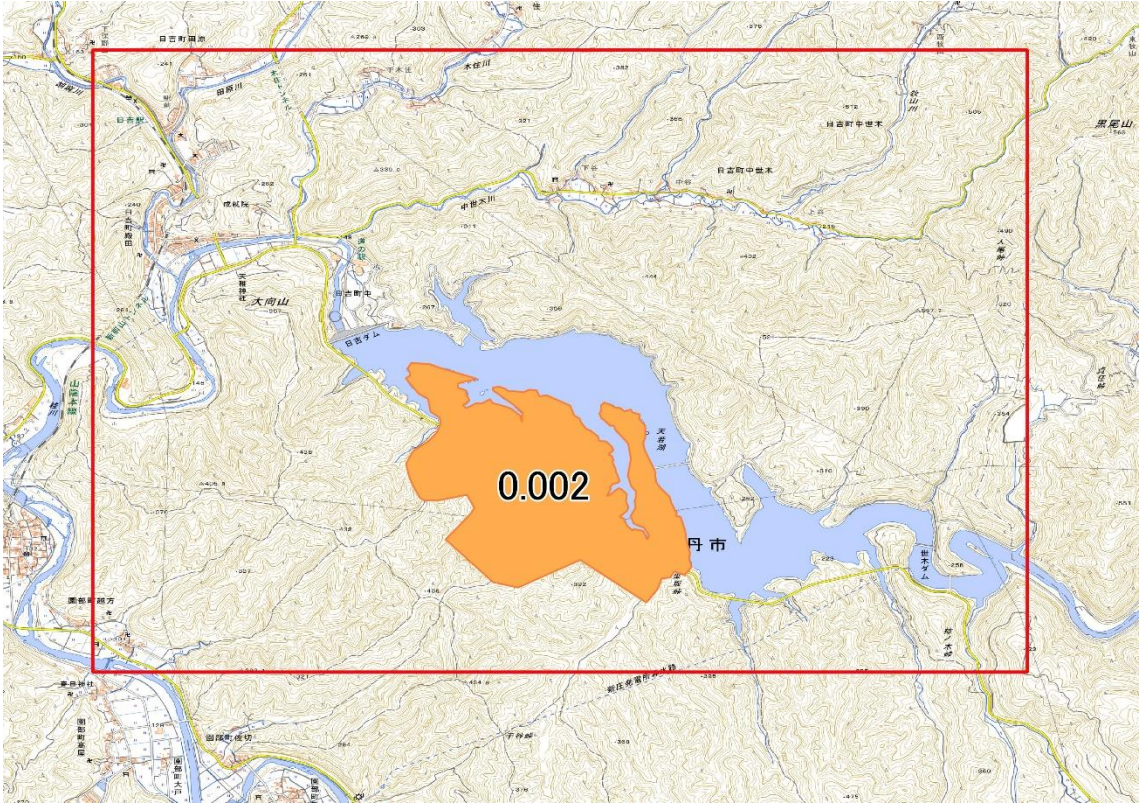
添付図6 四ツ谷田原区域の SPUE の地図



添付図7 日吉ダム区域の該当する5kmメッシュ地図（数値は京都府メッシュ番号）



添付図8 日吉ダム区域の捕獲位置図



添付図9 日吉ダム区域のCPUEの地図